

オンデマンド研修

令和4年度研修

建築物の環境・省エネルギー

— 建築物省エネ法に基づく適合義務や届出等の規制的措置の施行を受けて —

共 催 一般財団法人 全国建設研修センター
一般社団法人 公共建築協会
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市町村会・全国町村会

地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さから人類の生存基盤に関する安全保障の問題とされており、最も重要な環境問題の一つです。地球温暖化対策の推進を図るため、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を普及・推進するとともに、BCP(業務継続計画)など災害時における機能確保にもつながる官公庁施設の環境品質の向上について取り組んでいくことが重要になっています。

本研修では、建築環境に関する専門家を講師として招き、地球温暖化対策の法制度、SDGsとカーボンニュートラル、ライフサイクルエネルギーマネジメント(LCEM)、ZEBからカーボンニュートラルへなどの講義を通じて、官公庁施設の環境品質向上についての知識の修得を目的としています。

例年、多数の受講者にご参加いただき好評を得ている研修です。新型コロナウイルス感染症の感染防止の上からも、WEB配信によるオンデマンド研修として企画しました。

皆様のご参加をお待ちしております。

【受講された方々の声】

- ・建築物の省エネルギーに関して、広範囲にカバーされており、BCP 建築及び ZEB など最新の知識を得ることができた。
- ・業務に直結する大変有意義な研修内容であり、行政的な視点でどうコストと折り合いをつけて、低炭素技術を導入するかについてアイデアが得られた。

【配 信 期 間】 令和4年10月19日(水)～10月25日(火)7日間
上記期間中は、いつでも閲覧可能です。(講義時間数5.5時間)
当センターホームページよりお申込みください。 <https://www.jctc.jp/>

【メール配信】 メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、募集中のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。
ご希望の方は、下記 URL または QR コードよりお申し込みください。
<https://www.jctc.jp/training/mail-service>



※研修会費の助成制度がある県(政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります)
青森・岩手・栃木・群馬・新潟・富山・山梨・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知の13県。
詳細は、各縣市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

令和4年度研修「建築物の環境・省エネルギー」実施要領

1. 目的 地球温暖化対策の推進を図るため、地球温暖化対策の法制度、SDGsとカーボンニュートラル、ライフサイクルエネルギーマネジメント（LCEM）、ZEBからカーボンニュートラルへなどの講義を通じて官公庁施設の環境品質の向上について、先進事例等を通じて幅広い知識を修得する。

2. 対象者 国、地方公共団体、独立行政法人等において、建築の営繕業務に携わる職員

3. 配信期間 令和4年10月19日(水)～10月25日(火) 7日間

※WEB配信によるオンデマンド研修です。

研修動画の閲覧には、パソコン及びインターネット環境が必要です。

上記期間中は、いつでも閲覧可能です。

4. 教科目、講師 (次頁参照)

5. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当：渡邊・橘

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

※申込は当センターホームページからのインターネット申込みのみになります。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

TEL：042-324-5315

6. 研修会費及び納入先

(1) 研修会費 27,000円 (1人当たり・消費税含)

(2) 研修会費納入先

三菱UFJ銀行 新宿支店 普通預金 No.0000316

ザイ) ゼンコクケンセツケンシュセンター

一般財団法人 全国建設研修センター

申込受付後に「受講通知書」と「請求書」をお送りします。到着後、研修開始前までにお振込みください。

振込手数料は、ご負担ください。

なお、お振込みの際には「振込依頼人名」等の頭に、受講通知書等に記載されている「申込番号」をご入力ください。

7. 申込締切日 令和4年10月5日(水)

8. オンデマンド研修に関してのご案内

(1) 動作環境

- ・インターネットを閲覧できる環境 (通信料は各自負担となります。)
- ・推奨OS: Windows 8.1以降, Mac OS X 10.11以降
- ・推奨ブラウザソフト: Google Chrome, Microsoft Edge (バージョンは、全て最新版。)
- ・上記環境に該当しても、セキュリティ環境によっては閲覧できない場合があります。

※研修センターホームページの申込画面にある確認用動画で閲覧可能か、お申込前にご確認ください。

(2) 注意事項

- ・お申し込みには当たっては、「WEB研修規約」の内容を確認し、同意の上お申し込みください。
- ・動画を録画・キャプチャーすることやSNS等へのアップは禁止します。
- ・サービス利用にあたってのサポートは致しかねます。
- ・閲覧できる期間は7日間となります。
- ・申込者のみ閲覧可能とし、視聴ID等の譲渡を禁止します。
- ・受講される人数分をお申し込みください。

(3) その他

- ・申込締切日以降、受講に必要なID/パスワードを送信いたします。また、申込時に登録された住所に研修テキストを送付します。
- ・研修開始の3日前(土日祝日は除く)までに「ID/パスワード」「研修テキスト」が未着の場合はご連絡ください。
- ・ID/パスワード通知後は、キャンセルできません。

9. 修了証書の発行

ID/パスワード送信時に、「学習報告書」を添付いたします。

「学習報告書」に必要事項を記入の上、返信してください。確認後、修了証書をお送りいたします。

令和4年度研修 「建築物の環境・省エネルギー」時間割

時 間	教 科 目	講 義 内 容	講 師
(1.0h)	概 論 － 建築と環境について －	地球温暖化対策に関する主な法制度や、公共建築における省CO2、省エネルギー化に関する最近の動向について紹介します。	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部 設備・環境課 営繕環境対策室長 才木 潤
(1.5h)	SDGsとカーボンニュートラル	建築に係るSDGs達成への貢献について、大きな検討の枠組みと取り組み度合の評価方法について説明する。また、自治体におけるZEBへの取り組み状況とその事例について紹介する。	千葉大学大学院工学研究院 准教授 林 立也
(1.5h)	ライフサイクルエネルギーマネジメント(LCEM)とコミッションング	公共建築における省エネルギー・省CO2化を図るためには、施設のライフサイクル(企画・計画、設計、施工、運用、改修)を通じて、省エネルギー性能の分析・評価を実施することが重要である。特にエネルギー消費量において割合が大きい空調設備におけるLCEMツールについて紹介するとともに、施設運用段階におけるコミッションングの手法と重要性について説明します。	株式会社 NTTファシリティーズ カスタマーソリューション本部 営業・ソリューション企画部 IoTシステムソリューションPT 課長 渡邊 剛
(1.5h)	ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)からカーボンニュートラルへ	近年、パリ協定に基づいたカーボンニュートラル社会実現に向けての国の取り組みが開始された。また、「カーボンニュートラルの実現に向けた住宅・建築物の省エネ対策等の在り方検討会」において、住宅・建築物の省エネ性能等を高めるための対策強化についての議論が開始され、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の重要性はますます高まってきた。そこで、日本の省エネルギー建築からZEBに至る変遷とZEBの定義・評価方法の確立、カーボンニュートラルへの展開に至る動向を述べる。	日建設計総合研究所 フェロー 丹羽 英治